

むらづくり役場

住民自治組織 中津江振興協議会 《第16版》 2022.8.1

54-3200

♪ ぶるさとまつり ♪
♪ 開催に向けて ♪

昨年、ミニバージョンで開催した『中津江村ぶるさとまつり』。むらづくり役場で主にイベントの企画・運営を担当している「つどう部会」では、40回目となる『ぶるさとまつり』について協議を始めています。

新型コロナウイルスの感染再拡大により、村内のいくつかの行事や会議が中止となっていますが、地域の元気を取り戻すためにも、是非とも開催したいと意気込んでいます!?

★開催概要（あくまで予定です）★
日時：11月20日（日）10時～14時
場所：振興局前広場&中津江公民館
内容：昨年実施した内容をベースに住民参加型のイベントを検討

なかつえ カレンダー
掲載写真申込受付中!

来年（令和5年）のカレンダーに載せる写真をコンテストで選び、入賞作品をふるさとまつりで表彰する予定です。詳しい募集要項はむらづくり役場へ！
お気軽にご応募下さい



生活の一部として・・・ 防災のことを考えよう!

今年観測史上、最も早い梅雨明けでしたが、7月18日から降り始めた雨は、まさに梅雨末期を思わせる豪雨となり、避難指示も発令。今後も、いつ大雨や台風、地震発生などによる災害が起こるか分かりません。日頃の確認を怠らず、生活の一部として、防災のことを考える必要があります。

◆避難所・避難経路の確認をしよう!
自分の身を守る為には、早めの避難しかありません。

◆避難指示など、防災情報を把握しよう!
市役所から放送される防災放送に注意しましょう。

◆自分の防災行動計画を考えよう!(マイタイムライン)
どんな時に、誰に連絡してどう行動するか。イザという時に慌てないよう事前に計画しておきましょう。

◆防災訓練、防災に関する勉強会などに参加しよう!
地域で行われる避難訓練や防災講演会などに参加して、防災意識を高めましょう。

楽しく学べて
体験もできる
防災講座!



中津江ツアーの試金石?
お客様をお迎えしました

昨年度、新たに完成した「中津江エリアマップ」を見て、光岡公民館のグループ10名が中津江を訪問してくださいました。

当日はあいにくの空模様でしたが、下釜公園や蛇尾山、岩屋不動尊伝来寺庭園、間地のめがね橋など、つくる部会のメンバーに案内役をしていただき、8カ所を巡回。

月に1回の定例会を行っている光岡公民館講座の「男の居場所」では、こうした地域の歴史学習や美化活動などを行っているそうので、中津江の名所・旧跡も興味深げに魅入っていました。

つくる部会の活動が実を結んだ形となりましたが、今後は地域の人も知らない資源を、内外に広くPRしていこうと中津江ツアーを模索中です。ご期待ください!!



伝来寺庭園にて



木正舎前で記念撮影

地域のお宝！
今月の若え〜し…

三笠佳樹 さん
(野田)23歳
平成11年生まれ

大山の『奥日田温泉うめひびき』に入社して4年目。お客様から、楽しかったよと声をかけられる時が嬉しいと話してくれた佳樹さん。体を動かすことが好きで、高校の時に自分で部活を立ち上げたボルダリングは、今でも時間を見つけては施設に通っているそうです。中津江には面白いおじいちゃん、おばあちゃんが多くて会話が楽しい反面、遊ぶ所が無かったり苦手なイモムシがいるのが少し嫌だとか。「年上の明るい女性が好きなタイプだけど、結婚には全く関心がない！」と、屈託ない笑顔が絶えない “よっちゃん” でした(^^)



地域のお宝！
今月のご長寿さん…



川内高夫 さん
(間地)93歳
昭和3年生まれ

毎朝の散歩や屈伸運動を欠かさず、今でも足腰が痛むことは全くないという高夫さん。最近は歌っていないようですが皆さんご存じのとおり、カラオケが大好きで十八番は「王将」。17歳の時には戦争で海運工場に徴用され、軍艦の修理や整備、造船を担当。25歳で衣料品の売り歩きを始め、間地の『川内衣料品店』は82歳まで続け、地域の顔役でもあった高夫さん。背が高く、スツとした姿は、まさに^{かくしゃく}豊鑠という言葉がぴったり。「長く続けられたのは良妻の支えがあってこそ」と優しい笑顔で話して下さいました。



♪お隣の事務室もお借りしています♪



今年10月で5年目を迎える「むらづくり役場」ですが、少しずつ荷物も増えてきて、事務所の手狭さを感じるようになってきていました。

今回、隣の事務室で活動していた『つえ絆くらぶ』が解散して退室したことに伴い、地域の拠り所として引続き活用していくため、市にお願いして隣の事務室もお借りすることとしました。

そこで、写真や絵画など皆さんの作品を展示したり、懐かしのビデオを流したり、気軽に地域の方が立ち寄れる場所として利用できるよう、事務所に置いていた本棚やモニターなどの移設を行いました。

利用に際して多少の制限はありますが、様々な活用を考えています。皆さん、ぜひお立ち寄りください。

予定している活用方法

- ・皆さんの様々な作品展示
- ・昔のビデオなど映像の上映
- ・フリーマーケット商品展示
- ・集落支援員カフェ開催
- ・地域のミニデイサロン開催
- ・介護予防の運動教室開催
- ・観光パンフレットなどの配置
- ・地域の皆さんの交流の場
- ・イベント開催時の作業場所
- ・個別相談の開催場所 など

つれづれ

無くて七癖・ゲン担ぎ・習慣・ルーティン 皆さんも必ず1つか2つはあるのでは。

癖は自分では分からないが、私は靴や靴下は必ず左足から履くと決めている。特にゲンを担いでいるわけでもないし、“神は左をもって尊しとなす”との教えを守っているわけでもない(笑)。風呂に入る時も左足から、体を洗うのも左側から・・・ちなみに少なくとも、ここ30年は毎日風呂に入っている。(当たり前！という声が聞こえそうだが、昔の私を知る人には晴天の霹靂かも) そんな心の声が聞こえたのか・・・「毎朝、顔を洗うのもルーティンにしたら！」そう言えば朝起きて顔を洗ったのは今年になって3回くらいしかない。「毎晩、飲むルーティンは止めてもいいんだからね！」追い打ちの言葉が隣から (英)

知っていますか？

鯛生石 (地名の由来)

民家の庭先にひっそりと建つ小さな祠(ほこら)。その下に鯛生の地名の由来となった石が飾られています。

約800年前に豪族の田島氏と肥後の菊池氏とに縁談がまとまった際、菊池家が嫁入り先の田島家への手土産として雌雄一對の鯛を持参したところ、この地に着いたとたん躍り上がり、石の上に向き合ってしまったそうです。その石は「鯛が生まれ変わった石」として「鯛生石」と呼ばれるようになった！との伝説が残されました。

